

法政大学大学院
入学試験問題用紙

| | | | |
|------|---------------------------------|---------------|------|
| 試験科目 | 公共政策研究科 サステナビリティ学専攻 修士課程《一般》 | 2026年度 第1回 | 試験時間 |
| 小論文 | | | 60分 |

辞書参照 (可・否)

[注意] 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

以下の課題文を読んで、設問に答えなさい。

著作権の関係で、本文は掲載いたしません。

出典)隈研吾「コロナ後の都市と建築」村上陽一郎編『コロナ後の世界を生きる—私たちの提言』
(岩波書店、2020年)

設問 「ポストコロナ」という言葉自体が死語になりつつある今日、筆者の批評を前提とした、ポストコロナ・21世紀における都市のあるべき姿について、「空間・環境」、「社会・生活・文化」、「経済」の3つの側面から具体的に論じなさい。なお、COVID-19 以外にも、現代の都市文明を批判的にとらえ直すことが可能な他の視点を加えてもよい。また特定の都市を想定して論じてかまわない(ただし、その場合は従来の都市像を説明した上で、その変容について具体的に論じること)。